

稲作情報 (中干し編)

令和3年6月14日
JA 福井県 坂井基幹支店
坂井農林総合事務所

中干しにより、生育過剰を防ぎましょう！！

茎数過剰となると、籾数が多くなり、登熟期間の高温や日照不足で品質や収量が低下します。

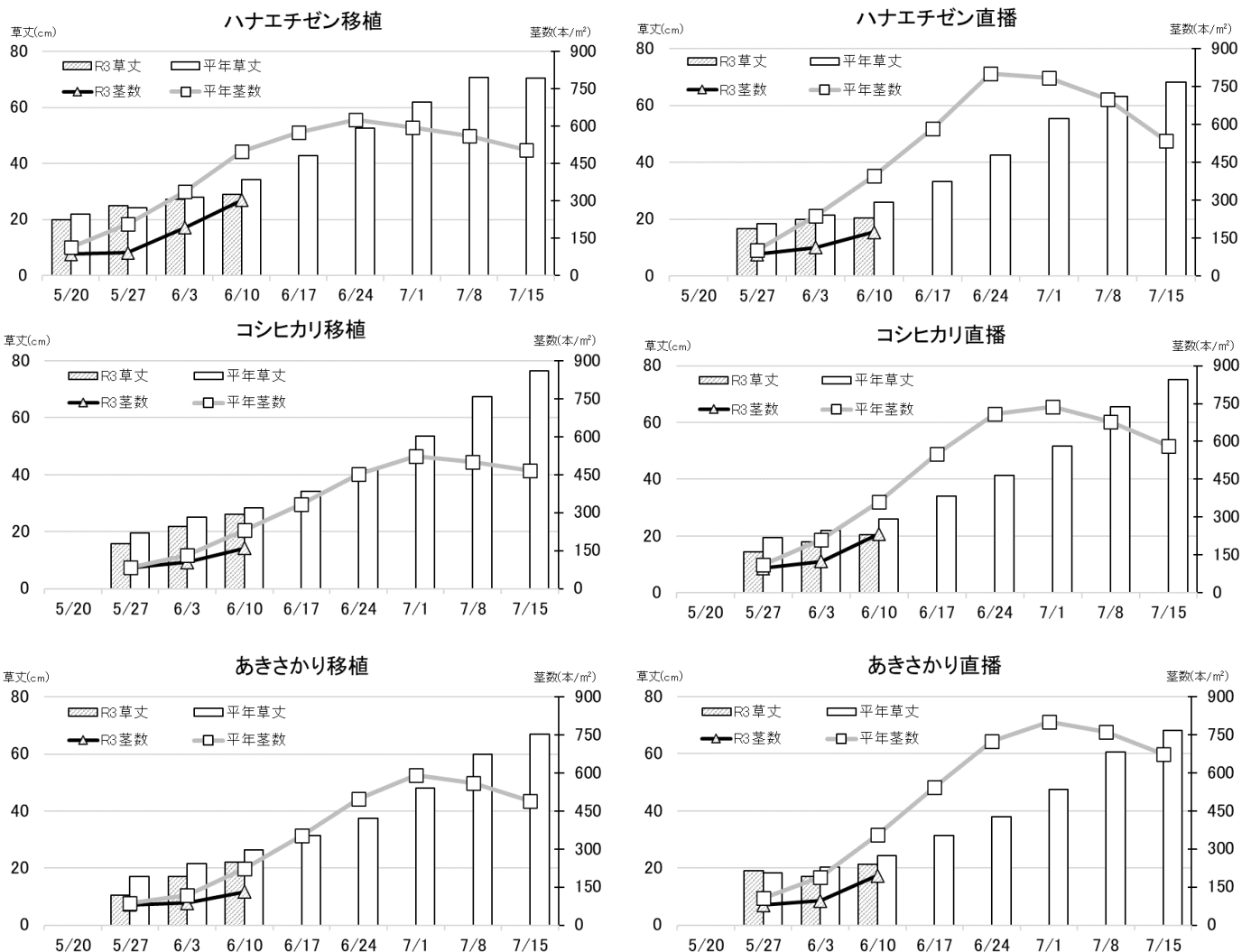
適期に中干しを開始することで、茎数過剰を防止しましょう。

生育状況

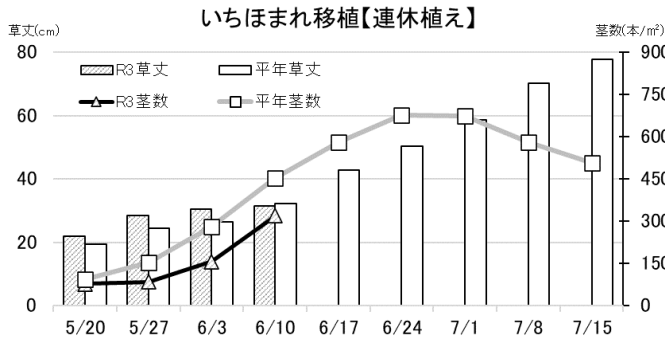
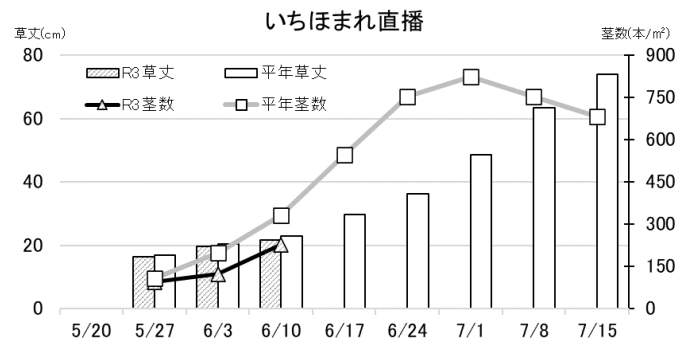
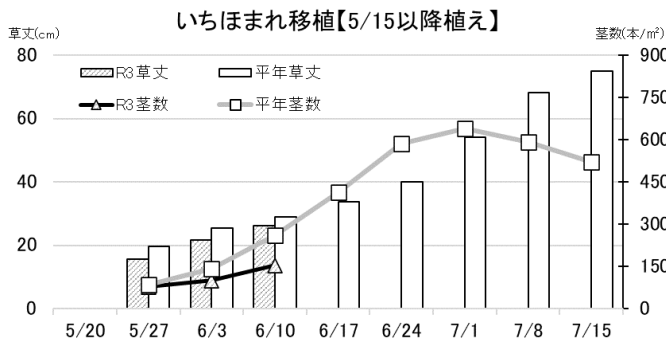
今年は4月25日～5月5日にかけて低温と強風の日が続いたことから、初期生育に悪影響をおよぼし**茎数が例年よりも少なく推移**しています。

全体的に生育が一週間から10日程度遅れ気味になっていますが、ハナエチゼンでは、来週6月17日頃には中干しの目標茎数に到達する見込みです。

また、例年よりは少ないですが、一部圃場でウキクサ類、藻類の発生が散見されます。発生が多い場合は中干し前かけ流しを行ってください。



※平年の値は直近（平成29年～令和2年）の平均値



溝 切 り

中干し後の水管理や、長雨時の排水、フェーン現象時のかん水を迅速に行うため、軽い田干しで土を固めた後、**溝切り**を行いましょう。

溝切りの間隔は3m(湿田)～5m(乾田) 末端は排水口へ接続しましょう。

中 干 し

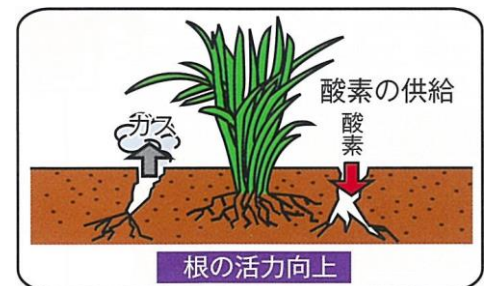
●中干しの目的

- ・ 6月後半以降に出る過剰な分げつを抑制する。
- ・ 土中に酸素を供給し、根腐れ防止と根を下向きに伸ばす。
- ・ 田面を固くして、収穫直前まで入水を可能にする。

●中干し開始時期の目安 (60 株植えの場合)

移 植 : 茎数が1株当り16～20本 (1㎡当り350～400本) になったら開始

直 播 : 茎数が1㎡当り 100本 (1㎡当り300本) になったら開始



●中干しの程度

土壌タイプ	中 干 し の 程 度	
湿 田	やや強め	足跡がつく程度
乾 田	弱 め	足跡に水が残る程度
砂質田	無～弱め	中干しせずに、 中断通水 (4～5日に1回入水)



※中干しは幼穂形成期直前まで実施しましょう。

中干しは、圃場を完全に乾かすことではありません。降雨がない日が続くときは、大きなのヒビが入らないようにしましょう。

- 茎数が不足しているところでは、日中2～3cm水深の浅水管理で、分げつ確保に努めましょう。